

市長定例記者会見

令和3年7月29日（木） 午前10時

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1. 新型コロナワクチン接種と感染対策のさらなる徹底 | 1 P |
| 2. プレミアムポイント事業 ～参加登録店舗募集開始 | 3 P |
| 3. 令和2年度一般会計歳入歳出決算（速報値） | 4 P |
| 4. 令和2年観光統計・コロナ下における観光浮揚の取り組み | 5 P |
| 5. 「市電・市バス・シティビュー24時間乗車券」の発売開始 | 7 P |
| 6. 火山防災トップシティの取り組み | 8 P |
| 7. 第6回児童書出版助成作品の決定 | 9 P |
| 8. おすすめイベント情報 ～かごしまの夏を満喫 | 別冊 |



7月20日 桜島火山爆発総合防災訓練（島内避難訓練）

1. 新型コロナワクチン接種と感染対策のさらなる徹底

1 新型コロナワクチン接種

接種券の発送状況と予約受付開始（先月発表したスケジュールから変更なし）

8月2日発送分をもって、対象者への発送完了予定。

対象者	接種券の発送(予定)日	予約受付開始日
75歳以上	4月16日(金)	5月11日(月)
65～74歳	5月24日(月)	接種券が届き次第予約受付
60～64歳	6月30日(水)	
55～59歳	7月19日(月)	
50～54歳	7月26日(月)	
45～49歳		8月2日(月)
40～44歳	8月2日(月)	8月9日(振休)
35～39歳		8月16日(月)
25～34歳		8月23日(月)
12～24歳		8月30日(月)

(参考) 65歳以上の方の接種率(7月26日時点)

接種を希望する全ての方が早期に接種できるよう、医師会などのご協力により、接種体制を整えて取り組んでいる。

接種券送付対象人数	1回目接種済み人数(接種率)	2回目接種済み人数(接種率)
174,100人	133,100人(76.5%)	96,100人(55.2%)

■ 基本的な感染症対策のお願い

- ・新型コロナワクチンは、発症の予防や重症化を防ぐ効果が期待されているが、人から人への感染予防の効果はまだ分かっていない。
- ・ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、接種した方と接種していない方が、共に社会生活を営んでいくこととなるため、引き続き、基本的な感染症対策の継続をお願いする。

■ ワクチン接種の正しい知識の取得と差別的な扱いの防止の呼び掛け

- ・ワクチン接種は、感染症予防の効果と副反応のリスクについて理解した上で、本人の意思に基づいて接種を受けることとなっている。
- ・副反応の情報については、厚生労働省ホームページ(市ホームページにもリンクあり)などで確認を。
- ・職場や周りの人などへの接種の強制や接種を受けていない人への偏見や差別的な扱い、誹謗中傷などが生じないようにお願いします。(広報紙「市民のひろば」や市ホームページなどでも周知。)

【新型コロナワクチン接種に関する問い合わせ】

- ・鹿児島市新型コロナワクチンコールセンター
電話：099-833-9567、FAX：099-225-0603
- ・鹿児島市新型コロナワクチン接種専用サイト
ワクチン接種に関するお知らせや、よくある質問・回答などを掲載



専用サイト

■ 問い合わせ
感染症対策課
099-803-7023

2 感染対策のさらなる徹底

本市でも、時短要請解除以降も、依然として感染者が毎日発生している。首都圏を中心に感染拡大の傾向がある中で、本市においても、いつ再拡大（リバウンド）してもおかしくない状況にある。

夏休みに入り、また人と接触する機会が多いお盆の時期を前に、市民の皆さまに、感染拡大地域との不要不急の往來を自粛していただくとともに、感染対策のさらなる徹底を改めてお願いします。

■ 具体的な感染事例からみる感染対策

職場

事例1：営業や現場へ向かう車中でマスクなしでの会話、長時間の同乗での感染

↳ 【感染対策】 マスク着用の徹底、
前後の窓を開けて十分な換気を



事例2：狭い個室における顧客との打合せでの感染

↳ 【感染対策】 オープンスペースでの打ち合わせ、
個室で行う場合もドアと窓を開けて
十分な換気を



レジャー

事例1：長時間のドライブでの感染

↳ 【感染対策】 マスク着用の徹底、
前後の窓を開けて十分な換気を

事例2：キャンプなどでバーベキューを囲んだ会食での感染

（屋外であっても近距離でマスクなしでの会話は感染する可能性あり）

↳ 【感染対策】 屋外であっても十分な距離をとり、
マスク会食の徹底を



その他

事例：不十分なマスク着用による感染（本人はマスクをしているつもりでも、他人から見れば鼻出しマスク、あごマスク）

↳ 【感染対策】 マスクを鼻にフィットさせた
しっかりとした着用



■ 問い合わせ
新型コロナウイルス感染症対策室
099-216-1502

2. プレミアムポイント事業 ～参加登録店舗募集開始

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている飲食店を支援し、地域における消費の喚起・下支えを行うため、「プレミアムポイント事業」を実施する。

1 事業の概要

スマートフォンの「Pay どんアプリ」から「鹿児島市飲食店応援ポイント」を購入してもらい、購入額の20%のプレミアムポイントを「Pay どんポイント」として翌日に付与する。

- (1) 販売(利用)期間 9月1日(水)～来年1月31日(月)
- (2) 利用できる店舗 「鹿児島市飲食店応援ポイント」は、参加登録したPay どん加盟の市内飲食店で、「プレミアムポイント」は、全てのPay どん加盟店で利用可能
- (3) 購入方法・限度額など
- | | |
|---------|--|
| 購入方法 | 鹿児島銀行が提供する「Pay どん」で購入 |
| 購入限度額 | 1人あたり100,000円※(最小購入額:1,000円)
※11月までは50,000円、12月以降100,000円に
引き上げ、販売総額12億5千万円に達した時点で終了 |
| 販売・発行総額 | 販売総額:12億5千万円、発行総額:15億円 |

2 参加登録店舗の募集

募集期間 8月1日(日)～12月30日(木)

対象店舗 Pay どん加盟の市内飲食店のうち感染防止対策に取り組む店舗※
(宿泊施設の飲食部門を含む。テイクアウト、デリバリー専門店も可。)

※「感染防止対策に取り組む店舗」

県の感染防止実施宣言ステッカーを掲出する飲食店や、飲食店第三者認証を取得している飲食店



■ 問い合わせ
産業支援課
099-216-1321

3. 令和2年度一般会計歳入歳出決算(速報値)

令和2年度一般会計歳入歳出決算(速報値)の状況を報告する。

■ 決算額の状況(速報値)

(単位:百万円)

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	増減額
歳入決算額 (A)	352,418	271,461	80,957
歳出決算額 (B)	346,672	265,212	81,460
歳入歳出差引額 (A) - (B) = (C)	5,746	6,249	△503
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	1,368	1,866	△498
実質収支 (C) - (D) = (E)	4,378	4,383	△5

■ 税収額の対比

(単位:百万円、%)

項 目 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	増減額
税収額	87,422	88,762	△1,340
税収額の歳入(A)に占める割合	24.8	32.7	△7.9

■ 問い合わせ
財政課
099-216-1155

4. 令和2年観光統計・コロナ下における観光浮揚の取り組み

令和2年観光統計を公表する。

	令和2年	対前年増減	対前年比
入込観光客数	511万4千人	▲489万3千人 (▲48.9%)	51.1%
宿泊観光客数	207万6千人	▲184万4千人 (▲47.0%)	53.0%
うち外国人宿泊観光客数	6万5千人	▲42万8千人 (▲86.8%)	13.2%



県外からの宿泊観光客の誘客を行った
「県外観光客宿泊キャンペーン」



新型コロナ対策に万全を期して、規模を縮小して開催した
「第69回おはら祭」



新型コロナ対策に配慮しながら冬の鹿児島市を盛り上げた
「天文館ミリオネーション2020」



医療従事者への感謝を込め、市内24カ所で打ち上げた
「ウィンターナイト大花火大会」

※詳細については、記者会見終了後、引き続き、災害対策本部室にて
担当課から説明を行います。

■ 問い合わせ
観光プロモーション課
099-216-1510

■ コロナ下における観光浮揚の取り組み

本市観光の回復に向け、様々な取り組みを行っています。

■ かごしまワクワク体験推進事業

概要：鹿児島県の夏・秋の魅力を生かした観光体験モニタークーポンを発行し、体験型観光メニューの充実につなげる。

対象者：鹿児島市内居住者

利用期間：7月1日～8月31日（夏用クーポン） ※抽選で5,000名に発行済

※秋用クーポン（利用期間：9月1日～11月30日）は、8月12日から8月18日まで申し込みを受け付けし、抽選で5,000名に発行予定。

■ 宿泊施設等新型コロナ対策支援補助金

概要：コロナ下における観光振興策として、市内の宿泊施設及び貸切バス事業者等の衛生対策強化に係る取組を支援する。

対象者：宿泊事業者等、貸切バス事業者、タクシー事業者等

補助率：1/2

■ 宿泊施設新観光ビジネス支援補助金

概要：体験型観光メニューや着地型ツアー等と鹿児島市内の宿泊施設が連携した高付加価値のセット商品等の充実につなげる。

対象者：宿泊事業者等

補助率：3/4（上限100万円）



■ 修学旅行誘致に向けた取り組み

① 修学旅行誘致補助金

概要：過去3年度、鹿児島県内での宿泊を伴う修学旅行を実施していない学校を誘致した旅行会社に対し、補助金を交付する。

補助内容：宿泊人数（修学旅行生・教員）×500円
（上限10万円）



② 観光施設等の利用料無料化 ※今年12月までの実施期間を来年3月31日まで延長

概要：修学旅行先を感染者の少ない地域へ変更したいという一定のニーズを見込み、観光施設等の利用料を免除する。

対象者：鹿児島市内に宿泊する修学旅行生及び教員

対象施設等：市観光施設等（かごしま水族館、平川動物公園、維新ふるさと館など）

■ 県外観光客宿泊キャンペーン事業（実施時期はコロナの状況等を踏まえ今後決定）

概要：本市宿泊施設で宿泊割引を受けられるクーポンを市独自に発行し、誘客を図る。

対象者：県外居住者

クーポン：5,000円/枚

（自己負担2,000円+プレミア額3,000円、2万5,000枚発行）

5. 「市電・市バス・シティビュー24時間乗車券」の発売開始

スマートフォン上で購入する「市電・市バス・シティビュー24時間乗車券」を発売する。

- 1 販売開始 8月1日（日）
- 2 利用方法
 - ・専用アプリ※をダウンロードしたスマートフォン等で購入し、利用開始時刻から24時間利用可能。
 - ・降車時に乗車券画面を乗務員に提示することで利用可能。

※ジョルダン㈱が運営する「乗換案内」アプリ

- 3 対象車両 市電、市バス、カゴシマシティビュー
- 4 料 金 大人800円、小児400円



乗車券画面のイメージ

■ 問い合わせ
交通局 総合企画課
099-257-2111

6. 火山防災トップシティの取り組み

取組の柱1 大規模噴火でも「犠牲者ゼロ」を目指す防災対策

■ 桜島火山活動対策協議会の要望活動（桜島周辺4市（本市・垂水市・霧島市・鹿屋市）で構成）

- (1) 実施時期 8月上旬（予定）
 - ・内閣府に対してリモートで要望を実施。
 - ・要望書を、内閣府・文部科学省・農林水産省・国土交通省等へ送付。
- (2) 要望内容
 - ・大規模噴火に関する防災対策の推進について（内閣府）
 - ・防災営農対策（農林水産省） など

■ 市街地側住民への大規模噴火対策の周知

新たに作成した「桜島火山防災リーフレット」※を活用し、市政出前トークなどで市街地側住民の対策への意識啓発を図る。

※「桜島火山防災リーフレット」

大規模噴火時の市街地側への大量の軽石・火山灰の降下等のリスクや、市街地側住民の広域避難の必要性などを掲載



取組の柱2 次世代に「つなぐ」火山防災教育

■ 親子で学ぶ桜島訪問体験学習

- (1) 日 時 8月1日（日）9時～16時30分
- (2) 場 所 黒神埋没鳥居、湯之平展望所など、桜島一円
- (3) 参加者 市街地側に住む小学6年生及びその保護者



取組の柱3 「鹿児島モデル」による世界貢献

■ 火山防災強化市町村ネットワークの要望活動

- (1) 実施時期 8月上旬（予定）
 - ・内閣府に対してリモートで要望を実施。
 - ・要望書を、関係府省へ送付。
- (2) 要望内容
 - ・大規模噴火発生時におけるガイドラインの作成（内閣府） など

（参考）火山防災強化市町村ネットワーク

本市の呼び掛けにより、令和2年7月14日に設立

目 的 火山防災に係る知識・経験の蓄積と情報共有を図るとともに、地域の実情を踏まえた国への要望活動等に連携して取り組む

構 成 火山災害警戒地域に指定されている151市町村

会長：鹿児島市長、副会長：富士吉田市長（山梨県）、蔵王町長（宮城県）

■ 問い合わせ
危機管理課
099-216-1513

7. 第6回児童書出版助成作品の決定

本市に根ざした文学振興の取り組みとして、児童文学の書き手の育成を図るため実施している児童書出版助成について、第6回の助成作品が決定した。

- 1 助成作品 「トーマイクン」(ジャンル：童話絵本)
- 2 作 者 文：田辺厚子ジョーンズ 氏 (本市在住)
絵：田辺カリナジョーンズ 氏 (本市出身) /ロイ・ジョーンズ 氏 (本市在住)
- 3 作品内容 古いお屋敷で悪夢に悩まされる孤独な住人たちと少女ビバ。それをそっと見守り、笛の力で苦しみを癒そうと奮闘する不思議な存在、トーマイクンの物語。

※今年度中に出版予定



表紙イメージ

(参考) 児童書出版助成 制度概要

- ・児童文学の書き手の育成を図るため、児童書に関する「原稿」を募集し、優れた作品に対して出版助成を行うもの
- ・助成額は、出版実費の1/2以内(上限50万円)で、出版後に助成

■ 問い合わせ
文化振興課
099-216-1501